

青森県	機関名	青森県	
	部署名	環境生活部 県民生活文化課 文化・NPO 活動支援グループ	
	電話連絡先	017-734-9207	
事業名	高校生ファッションチャレンジ事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
創造力豊かでチャレンジ精神あふれる人材の育成や、産業・地域の活性化を図るため、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」を毎年度開催している。 ※平成 12～16 年度は県主催、平成 17 年度からはファッション甲子園実行委員会主催(県は実行委員会構成員として開催支援) 【第 20 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園 2021)最終審査会】 ・期 日:令和 3 年 8 月 22 日(日) ・場 所:弘前市民会館 ・出 場:34 チーム(ファッションデザイン画の応募総数 2,248 点(全国 95 校)から選ばれた 34 点) ・審査員:著名なファッションジャーナリストやファッションディレクター等 ※コロナ禍のため、チーム招請によるファッションショー形式での審査を取り止め、各チームをリモートでつなぎ、会場に展示された作品を審査する形で開催。また、その様子を YouTube からライブ配信した。 <参考 URL> http://www.f-koshien.com			
			
令和4年度実施予定		開始年度	補助予算額 全体予算額
継続して実施		平成 12 年度	11,000 千円 28,104 千円



青森県	機関名	地方独立行政法人青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン推進室	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	研究開発		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1. 県内工芸の輸送機産業等に対する製品に関する試験・研究開発(H31-R5:6,762 千円) 概要:近年、建築のみならず列車やバスなどの輸送機の内装材に伝統工芸を採用する事例が増えており新市場参入の好機である。そこで、日本産業規格に準拠した試験結果を踏まえて、県内の漆工芸、木工芸の技術および製品開発を行い、輸送機や建築材など新たな産業分野への進出を目指す。 共同研究:2 件 2. デザインマーケティングによる価値形成に関する研究(H31-R3:3,336 千円) 概要:売れる商品づくりを支援し、地域の産業振興へ貢献するために、開発した商品に見合う価値情報を効果的に伝達する方法について検証した。 3. IoT 技術を活用した日常生活動作向上製品開発事業(R3-R5:2,788 千円) 概要:高齢者や被介護者の ADL や QOL の向上、介護者の負担軽減を実現する製品の提案と、県内事業者による商品化を目標とする。IoT とデザイン及び木工芸の技術を用い、医療福祉分野の物品やシステムをニーズに即し開発提案する。 4. 台湾連携ものづくり・新ビジネス創出事業－台湾向けパッケージデザインの研究－(R2:2,402 千円) 概要:台湾組織と連携して、県内事業者2社と共に商品をデザインし、台北市で展示会を開催して検証、台湾市場に向けた V-Cup の活用ポイントをまとめた。 5. 台湾連携ものづくり・新ビジネス創出事業－台湾デザイン市場開拓事業－(R3:1,996 千円) 概要:台湾市場を目指す県内事業者の人材育成と商品開発支援を目指し、台湾組織と連携して「V-Cup」に依る商品デザイン(5 社)を制作し、台北市で開催した展示会を通じて事業効果を検証した。 6. 中小企業経営者のための包装デザイン選択手法の開発(R4-R5:4,652 千円) 概要:V-Cup に依るデザイン企画とリカード法や視点測定装置に依る包装デザインの定量評価に基づく経営層向けデザイン選択法を開発し、県内小規模事業者へのデザイン経営導入を後押しする。 7. 職人と地方公設試験研究機関の関係史から構想する津軽塗の多様性と復権と技術継承(R4-R8:1,000 千円) 概要:熟練職人の活動経験と公設試の研究蓄積を収集し、蓄積した知識を再資源化する。津軽塗の多様性と持続性について認識を共有し、若手職人の技術と生産意欲の向上に寄与することを目的とした調査研究を行う。(基盤 C/研究分担者) 8. 共同研究:商品企画支援ツール(V-Cup)のアプリ化に関する研究開発(R2-R3:-千円) 概要:(株)青森共同計算センターと共に、青森産技開発の商品開発支援ツール「V-Cup」の step1 をアプリ化し、iOS のスマートフォンやタブレットで身近に簡便に利用できるようにした。			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
1.3.6.7 は継続 / 2.4.5.8 は事業終了		平成 31 年度など	22,936 千円

青森県	機関名	地方独立行政法人青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン推進室	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	開発支援・研究会		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【開発支援】			
1. 技術指導相談 主な相談内容:商品開発、木材加工技術、漆工加工技術、デザイン全般、情報提供など 142 件/R3 年度			
2. 依頼試験 概要:デザイン案作成 (パッケージ案、プロダクト案) 2 件/R3 年度 デザインレイアウト案作成 (展示会等のパネル案、ポスター案) 2 件/R3 年度			
3. 機器貸出 概要:デザイン関連機器(フラットベッドUVプリンタ、レーザー彫刻機、写真スタジオ、他) 16 件/R3 年度			
4. デザイン相談会 概要:県知財相談窓口と連携し、デザイン相談会を月 1 回程度実施。実績: R3 年度開催数 10 回 相談件数 21 件			
【研究会】			
5. 福祉研究会 概要:医療福祉分野の製品開発のため、現場ニーズ収集、製品案検討、試作品製作、改良などを目的に設置。介護技術専門家、医療福祉従事者、木製品・布製品製造者、家具雑貨販売者などが参加。			
6. 青森ビジネスデザイン活用研究会 概要:デザイン経営及びデザイン評価方法検討する場として設置した会。デザインに興味のあるモノづくり企業、デザイン企業、知財関係者など参加。			
開始年度		予算額	予算額
継続して実施予定		-	00,000 千円

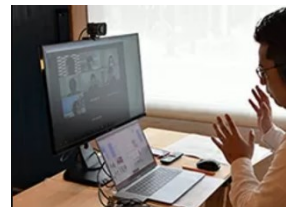
青森県	機関名	地方独立行政法人青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン推進室	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	情報提供・研修会		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【情報提供】			
1. 青森産技マルシェ WEB (R2 開設) 概要:青森産技の研究成果(食品)を一般消費者向けに分かり易く情報発信しているWEBサイト。			
2. あおもり日本酒テロワール WEB、チラシ (R2 開設、発行) 概要:青森で開発した「米、麹、酵母」で出来た日本酒を紹介する WEB サイト。			
3. 広報支援ガイドブック (R3 開設、発行) 概要:中小企業が自社製品を製造してから商品発表に至る際に必要な情報発信について支援するガイドブック。			
4. 津軽塗の性能的価値調査報告 (R4 作成) 概要: JIS 日本産業規格に準拠し計測した津軽塗の特性データを報告書としてまとめ、新市場開拓に活用した。			
【研修会】			
5. 技術普及研修会 (R3) 概要:県内工芸の特性データを工芸業界向けにまとめ、技術研修会を3回行った。			
開始年度		予算額	予算額
継続して実施予定		-	00,000 千円

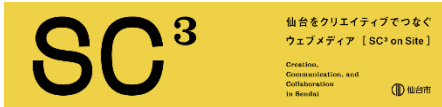
岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115
事業名	技術支援事業及び研究開発事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
研究成果や職員の専門的知識等を活用した技術相談、依頼試験への対応のほか、設備機器の貸出などを通じて県内の企業活動を支援しています。		
①復興支援	センターの持つ技術資源を活用し、企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援します。	
②技術相談	新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。	
③企業訪問	企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。	
④依頼試験等	各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡します。	
⑥デザイン制作	企業等の希望により、デザイン制作を行います。デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します。	
⑥設備機器貸出	センターが所有する機器を貸出します。一部の機器は所外への貸出も行っています。	
⑦受託研究	企業等の希望により、センターが行う研究です。	
⑧共同研究	企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。	
⑨人材育成	講習会の開催、職員の講師派遣、研修生の受入などを行うことで、企業技術者等の育成を支援します。	
⑩研究員派遣	技術開発に係る試験、研究、分析、検査、評価などに関する技術支援のため、研究員を企業等に派遣します。	
⑪研究開発型人材育成支援	新商品開発や技術課題解決などのため、企業等の技術者を受入れ、研究開発及び人材育成を支援します。	
令和4年度実施予定		開始年度
来年度以降も継続して実施予定		予算額
		-

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター		
	部署名	産業デザイン部		
	電話連絡先	019-635-1115		
事業名	デザインラボにおけるデザイン支援			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、平成 31 年 4 月に、デザイン支援拠点「IIRIDESIGN LAB(デザインラボ)」を設置しました。 デザインラボでは、岩手県内の製造事業者及びデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」、「商品開発支援」、「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を行います。 県内の製造事業者 工業製品製造事業者 工芸品製造事業者 食料品製造事業者 印刷・関連事業者 その他の製造事業者 製造事業者及びデザイナー等の商品開発を支援 デザイナー等 マーケティングディレクター クリエイティブディレクター プロダクトデザイナー アートディレクター グラフィックデザイナー その他のデザイナー等 De.I IIRI DESIGN LAB 3つの活動内容 デザインの普及啓発 デザイン情報の発信(セミナーの開催、ウェブ等での情報発信等)、ワークショップ等の開催、商品開発プロセス導入支援 商品開発支援 商品企画 → 製品開発 → 製造 → 販売 デザイン相談、製造事業者向け支援、デザイナー向け支援、技術相談、依頼試験、設備・機器貸出等 デザイン手法・製品技術の研究開発 デザイン手法、漆工技術、木材加工技術等に係る研究開発 関連機関との連携 地方独立行政法人 岩手県工業技術センター IIRI INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER コト(ユーザー体験=北国(岩手)の暮らし)づくりのためのモノ(新商品)づくり 日用品 食品 公共空間 生産財 etc 医療福祉 住環境 北国(岩手)の暮らし【コト】 【モノ】 魅力的な商品の開発				
ホームページ		http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/		
Facebook		https://www.facebook.com/IIRI.DESIGN.LAB/		
Youtube		https://www.youtube.com/channel/UCiJY8goqHccQAwUJJWHU45Q		
令和4年度実施予定		開始年度		予算額
来年度以降も継続して実施予定		令和元年度		-

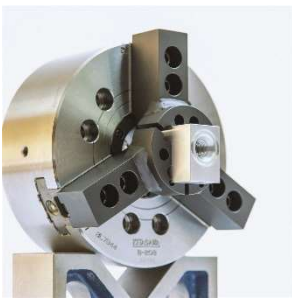
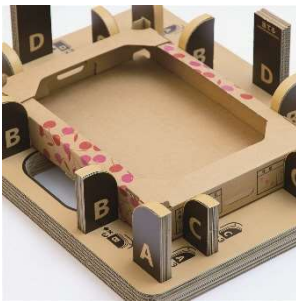
ホームページ <http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/>
Facebook <https://www.facebook.com/IIRI.DESIGN.LAB/>
Youtube <https://www.youtube.com/channel/UCiJY8goqHccQAwUJJWHU45Q>

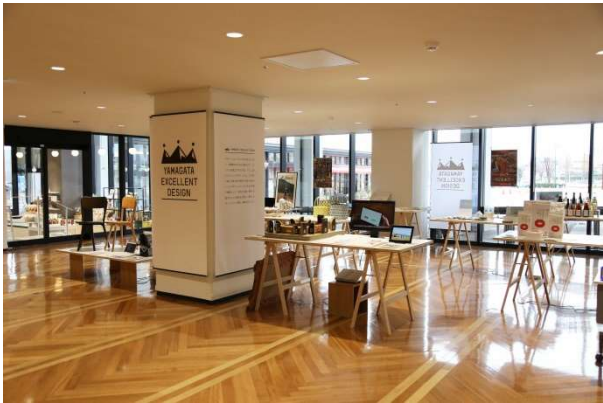
宮城県	機関名	宮城県	
	部署名	経済商工観光部 新産業振興課／産業技術総合センター	
	電話連絡先	022-211-2722／022-377-8700	
事業名	高度技術者養成研修「デザイン・商品企画コース」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
■令和3年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース (1)“これからニーズ”のビジネスモデル(オンライン研修) 開催日:[A 日程]令和3年9月14日(火)、9月21日(火) [B 日程]令和3年9月15日(水)、9月22日(水) 形 式:zoom および miro によるオンライン開催 講 師:ブルーファーム株式会社 デザインディレクター 高橋雄一郎氏 定 員:各回5名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=1227   (2)アイデアスケッチワークショップ(オンライン研修) 開催日:令和4年2月9日(水)、2月16日(水) 形 式:zoom および miro によるオンライン開催 講 師:情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 教授 小林茂氏 定 員:10名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=8548  (3)はじめての PR 動画制作講座 ―PR 動画企画のコツと PowerPoint を使った動画編集基礎―(無料セミナー) 開催日:令和4年2月22日(火) 形 式:zoom によるオンライン開催 講 師:FabLabSENDAI-FLAT エンジニア 大網拓真氏 定 員:50名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=10236			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
令和4年度も継続して実施予定		平成3年度	872千円



宮城県	機関名	仙台市
	部署名	産業政策部中小企業支援課
	電話連絡先	022-214-7338
事業名	クリエイティブ産業振興事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【クリエイティブプロジェクト助成事業】 創造性や発展性のあるプロジェクトに対して、助成金を交付したほか、フォローアップや後方支援等を行った。 ・助成件数 5 件 【クリエイティブ産業情報発信事業】 仙台を中心に活躍するクリエイターを取り上げたコラムやイベント情報等を発信するウェブサイトの運営、クリエイティブ産業関係者同士がネットワークを形成するためのワークショップ等を実施した。 https://sendai-c3.jp/ 【デザイン活用支援事業】 販促ツールに課題を抱える事業者に対し、専門家が制作の方向性や改善点等についてアドバイスを行ったほか、ホームページ「暮らす仙台」を通じて、地域中小企業の商品やサービスの認知度向上を図った。 ・地域企業によるデザイン改善等 10 件 ・「暮らす仙台」掲載件数 175 件、閲覧回数 13.6 万回 https://www.siip.city.sendai.jp/kurasusendai/		
 クリエイティブプロジェクト助成事業キービジュアル  クリエイティブ産業情報発信事業「SC3」ホームページデザイン  「暮らす仙台」ホームページデザイン		
令和4年度実施予定		開始年度
令和3年度で事業終了(クリエイティブプロジェクト助成、産業情報発信)、令和4年度も継続して実施予定(デザイン活用支援)		平成 18 年度
		予算額
		12,365 千円

秋田県	機関名	秋田県
	部署名	産業労働部地域産業振興課
	電話連絡先	018-860-2247
事業名	産業デザイン活用促進事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【目的】 県内産業の高付加価値を図るため、「あきた産業デザイン支援センター」を設置し、製品の企画段階から製造、製品化後のマーケティング・販路開拓に至るまで、県内企業を産業デザインの面から支援する。		
【主な業務】 ○製品のデザイン、開発、制作技術に係る助言 ○市場開拓、販路拡大などマーケティングに係る助言 ○相談の内容に応じた専門家(デザイナー)の紹介・つなぎ ○公的助成制度等への申請に係る支援 ○産業デザインの普及啓発 など		
【設置場所】 公益財団法人あきた企業活性化センター内		
【人員体制】 産業デザイン相談員 3人		
＜普及啓発＞ (1) 令和3年度デザインシンポジウム「あきたのものづくりとデザイン2021」 (主催:公益財団法人あきた企業活性化センター、共催:秋田県) 【日時・場所】 令和3年12月16日(木) 秋田市文化創造館／オンライン併用 【第1部】 演題 :「初めてづくしの商品開発」 講師 :株式会社ユーイーアイ 加藤 淳弥 氏 【第2部】 演題 :「地域のいいものほしいもの ～繋ぎ手から見たものづくりの魅力」 講師:BEAMS JAPAN 鈴木 修司 氏 【参加者】 38名 (2) 知財・デザイン出張相談会 (主催:あきた企業活性化センター) 【日時・場所】 令和3年10月29日(金) :本荘由利産学共同研究センター 令和3年12月3日(金) :男鹿市商工会オガルベ 【内容】 ◇知財ミニセミナー 「知ってるようで知らない商標のこと」 ◇デザインミニセミナー 「何が違うの? 相手に伝わる広告とは」 ◇個別相談会 「知財、デザイン何でも個別相談会」 【参加者】 6名(本荘由利共同研究センター) 7名(男鹿市商工会オガルベ)		
＜参考 URL＞ http://idsc-akita.net/		
令和4年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成23年度
		予算額
		7,705 千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	山形エクセレントデザイン事業	
事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）		
県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始した。現在は隔年開催で、令和3年度に12回目となる「山形エクセレントデザイン2021」を実施した。		
■山形エクセレントデザイン2021		
実施主体：山形デザインコンペティション実行委員会（会長：山形県知事）		
内 容：魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品や取組みを選定・顕彰する。		
募集期間：令和3年7月20日（火）～9月10日（金）		
募集対象：過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、令和3年12月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと		
応募数：88点		
審査委員：長谷川 敦士（武蔵野美術大学 教授/株式会社コンセント 代表）、宇南山 加子（株式会社 SyuRo 代表）、酒井 聡（東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科教授）、原田 祐馬（UMA/design farm 代表）、吉泉 聡（TAKT PROJECT 株式会社 代表/デザイナー）		
選定結果：		
○エクセレントデザイン大賞 「買い物支援システムとローカルロジスティクスによる地域活性化のためのデザイン」（株式会社チャンピオン）		
○準大賞（3点） 「STON3」（株式会社エスパック） 「CHUCKING HERO」（株式会社後藤精機） 「チェア「bambiF-3249」（株式会社天童木工）		
○環境デザイン賞 「プラスチック材質判別装置「ぶらしる」（株式会社山本製作所）		
○パッケージデザイン賞 「赤おに印のたかはたつや姫」（「高島つや姫」ブランド確立対策協議会）		
○プロジェクトデザイン賞 「はげごバッグ」（沢原はげごの会）		
○ローカルデザイン賞 「山形山菜さとやまソルトセット」（特定非営利活動法人なでらの森）		
○入賞（8点） 「AndMERC I 大石田店／アトリエ（工房）」（株式会社AndMERC I） 「みさきの一軒家」（株式会社岡ざき） 「k-hour project」（金山町） 「小嶋総本店 米糍のあまさけ」（株式会社小嶋総本店） 「山形のドライフラワー専門店 sanko」（株式会社サンカ） 「上山市久保手地区にあるワイナリー「ベルウッドヴィンヤード」のワインづくりとワイン達」（株式会社ベルウッドヴィンヤード） 「米沢緞通チェアラグ「sakuranbo」、「mame」、「ushi」（米沢絨毯株式会社） 「THISISASWEATER. A SWEATER IS ORDINARY」（米富繊維株式会社）		
<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.yamagatanodesign.jp/		
		
令和4年度実施予定		開始年度
令和4年度は、選定品の県内展示会を実施予定。		平成9年度
		予算額
		2,980千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	山形エクセレントデザイン魅力発信事業	
事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）		
山形エクセレントデザインの認知度は向上してきたが、選定品の常設展示および購入に関する情報提供が課題となっていた。多くの人の出入りが期待される山形県総合文化芸術館内の魅力発信モール内に「山形エクセレントデザイン 2021」選定品を常設展示するとともに、民間事業者のノウハウを使用した試験販売を実施した。 ■山形エクセレントデザイン魅力発信事業 実施主体：山形デザインコンペティション実行委員会（会長：山形県知事） 内 容：(1)「山形エクセレントデザイン 2021」選定品の周知および展示 (2)「山形エクセレントデザイン 2021」選定品の県産品ショップ内での販売促進 (3)ネット通販による PR と販売チャンネルの構築 期 間：令和3年9月～令和4年3月		
		
令和4年度実施予定		開始年度
令和3年度で実施終了。		令和3年度
		予算額
		—

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	販路開拓支援事業”ブラッシュアップスクール”	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

「山形エクセレントデザイン 2021」受賞企業および奨励企業の販路開拓を目的とし、売するための製品ブラッシュアップと販路開拓手法を学ぶ勉強会を開催する。

実施主体：山形デザインコンペティション実行委員会（会長：山形県知事）

■山形エクセレントデザイン販路開拓支援事業

内 容：講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議

期 日：令和4年3月（生活用品系、デザイン活用系計2回開催）

参加企業：21社（山形エクセレントデザイン2021受賞企業、奨励企業）

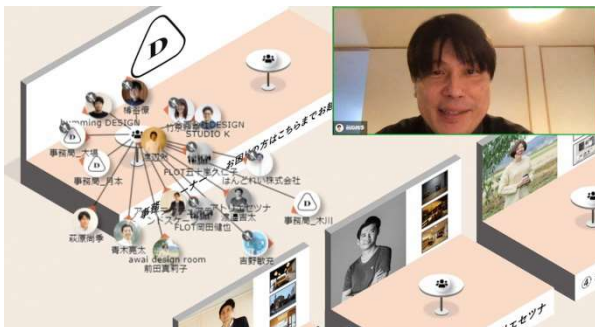
講 師：長谷川 敦士（武蔵野美術大学 教授/株式会社コンセント 代表）、日野 明子（スタジオ木瓜 代表）

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

<https://www.yamagatanodesign.jp/>



令和4年度実施予定	開始年度	予算額
令和4年度も継続して実施予定	平成27年度	2,980千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	デザイン活用促進事業 “デザ縁”	
事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）		
県内企業のデザイン力向上と積極的なデザイン活用を図るため、企業とデザイナーによるマッチング会を行う。企業とデザイナーの良好な関係を構築し、県内ものづくり企業がデザインを活用した自社製品開発に取り組むきっかけをつくる。 実施主体：山形デザインコンペティション実行委員会（会長：山形県知事） ■デザイン活用促進事業 内 容：県内外のデザイナーによる県内製造業者のマッチング会を実施する。 期 日：令和4年3月7日（月）オンライン 参 加 者：参加者 47名（43団体） デザイナー：青木亮太（朝日町）、株式会社アーキテクチャランドスケープ（山形市）、株式会社アトリエセツナ（山形市）、awai design room（中山町）、株式会社コロシ（天童市）、竹永絵里（山形市）、合同会社 DESIGN STUDIO K（山形市）、株式会社 nanoha（山形市）、株式会社フロット（山形市）、渡辺然（大江町）、humming DESIGN（鶴岡市）、はんどれい株式会社（鶴岡市）、吉野敏充デザイン事務所（新庄市）（13組） <事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.yamagatanodesign.jp/		
   		
令和4年度実施予定		開始年度
令和4年度も継続して実施予定		平成27年度
		予算額
		2,980千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	デザイン思考イノベーション創出事業（やまがた＆Dプロジェクト）	
事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）		
県内企業の経営者、リーダー層等を対象に、東北芸術工科大学の学生と交流しながら、デザイン思考で自社の“アフターコロナ、次の一手”を考える勉強会を開催する。また、東北芸術工科大学学生との交流を通じて、双方の魅力の共有とコミュニティの形成を促し、県内におけるクリエイティブ人材の育成と活用を目指す。 実施主体：山形県 ■デザイン思考イノベーション創出事業（やまがた＆Dプロジェクト） 内 容：企業側は自社の課題の探究、学生側は若者の視点を活かした課題解決のためのアイデアを創出し、企業側に提案する。 参 加 者：デザインセミナー参加企業 26 社、勉強会参加 5 社（応募 12 社）、学生 11 名 企業チーム講師：石川 俊祐（株式会社 KESIKI パートナー） 学生チーム総指揮：中山 ダイスケ（東北芸術工科大学 学長）		
 		
令和 4 年度実施予定		開始年度
令和 4 年度も継続して実施予定		令和 3 年度
		予算額
		1, 3 9 6 千円

福島県	機関名	福島県	
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課	
	電話連絡先	024-521-7296	
事業名	進化する伝統産業創出事業(クリエイター育成事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1.ふくしまクリエイティブクラフトアカデミーの開講・運営 県内の伝統工芸・地場産業に携わる人材が、デザイン・マーケティング・ブランディング・商品開発等にかかる知識を習得し、販売力強化に向けたスキルアップを図る場として、「ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー」を平成29年度から開講。 ①受講対象：県内の地場産業に携わる職人・事業者・組合等、県内の地場産業の担い手を目指す者 ②受講者数：19名(令和3年度) ③内容：ブランディングやデザイン等に精通した外部人材を講師とし、ワークショップ、講義、修了式・成果発表会の計5回のカリキュラムを実施した。また、ECサイトで開発商品のテストマーケティングに取り組んだ。			
			
<参考 URL> https://fukushima-craft.jp/			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		平成 29 年度	30,421 千円

福島県	機関名	福島県
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課
	電話連絡先	024-521-7296
事業名	「売れるデザイン」イノベーション事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
1 ふくしまベストデザインコンペティションの実施 県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」へのデザインの活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品を創出するため、優れたデザインを表彰するコンテストを実施する。 ○ 対象商品 ①生産、製造または加工の最終段階を県内でやっている商品。 ②主な原材料が福島県産であって、県外の事業者等により製造された場合は、県内に主たる事業所を有する者が販売を行っている商品。 ○ 審査委員 小山薫堂、真鍋かをり、国井美果、鈴木正晴、鈴木順之、菊地敦己、(公財)福島県観光物産交流協会理事長、県観光交流局長 ○ 表彰部門 ・パッケージデザイン部門 ・キャッチコピー・ネーミング部門 ・プロダクトデザイン部門 ・クリエイターズバンク部門 ○ 賞 ・グランプリ 1者 ・ゴールド 各部門1者 ・シルバー 各部門1者 ・ブロンズ 各部門1者 ・審査委員特別賞 1者 ・ロングライフデザイン賞 1者 ・イノベティブデザイン賞 1者 ○ 専用 HP https://fbdc.fksmdesign.com/		
  		
2018-19 グランプリ だるみくじ 2019-20 グランプリ さんま ささ干 2020-21 グランプリ 赤べこ絵付けキット		
2 クリエイターズバンクの運営 県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」等へのデザイン活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品の創出や効果的な販路開拓に繋げるため、事業者とクリエイターとの出会いの場をつくり、マッチング支援を行う ○ 事業概要 ふくしまクリエイターズバンクに登録するクリエイターと、デザイン活用を図りたい事業者のマッチングを行い、協業による新パッケージや販促物等の開発、ブランディング支援等を行う。 また、事業費の一部(事業者がクリエイターへ支払うデザイン開発経費等のうち半額(最大10万円))を県が支援する。		

○ 募集対象者

①事業者

対象商品(県産品(生産、製造又は加工の最終段階を県内で行っている商品)として県内外で販売されているもの、または今後販売予定のもの。)の生産又は製造を行う県内事業者

②クリエイター

日本国内在住で、3年以上の実務経験及び実績を有する者。

○専用 HP

<https://fcb.fksmdesign.com/>



令和4年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成30年度	17,205 千円 (令和3年度)

東北経済 産業局	機関名	東北経済産業局		
	部署名	地域経済部産業技術革新課知的財産室		
	電話連絡先	022-221-4819		
事業名	TOHOKU デザイン創造・活用支援事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
1. 目的 東北地域の魅力ある商品に対する新パッケージデザインを公募・展覧することにより、東北ならではのデザイン等を創造し、優秀な作品について実用化することで中小企業等におけるデザイン等の活用による商品の販売促進とブランド化を支援するとともに、東北地域におけるデザイン等に対する意識を啓発し、デザイン等の創造・保護・活用を促進する。 2. 実施内容 (1)「おいしい東北パッケージデザイン展」開催 東北地域の魅力ある商材に対するパッケージデザインやキャッチコピー等を全国から公募。 (2)「おいしい東北パッケージデザイン展」展覧会、表彰式・フォーラム・交流会 東北地域の商材に対するデザインの創造・保護・活用に関する意識啓発、制度普及を図るため、フォーラムを開催するとともに関係者間のネットワーク構築を図るための交流会を開催。 (3)新パッケージデザインの実用化支援 パッケージデザインの実用化に向けたフォローアップとして、デザイナーや専門家等と参加企業を訪問し、デザインの改善、知的財産権の取り扱いに関する契約、権利化等について支援を実施。				
 デザイン展 2021グランプリ 「希望の丘」				
令和4年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		平成 26 年度	—	